

青春～アオハル～

天童高等学校
1年次通信第8号
令和4年6月2日

「前期中間考査に向けて」

いよいよ明日3日（金）から山形県高校総合体育大会が開催されます。

すでに陸上部やバドミントン部など大会が終了している競技もあります。運動部に所属する1年次生にとっては初めての県レベルでの試合となります。レギュラー、控え、マネージャーなど担う役割はそれぞれと思いますが、各自全力で頑張ってください。

さて、6月17日（金）からの4日間、前期中間考査が行われます。

みなさんにとっては、高校生活最初の定期考査になりますね。

各教科担任の先生方から出される課題等に日々一生懸命取り組んでいると思いますが、今回は定期考査に向けた「学習の取り組み方」について3つふれます。

1 試験日程（後日教室に掲示します）をよく確認した上で、各科目の試験実施日までを逆算し、学習計画を立てること。

まず物事を成し遂げるには、事前の計画が大切です。

試験前日のみの学習では、決して効果は出ません。直前になって「あれも取り組めば良かった、これも取り組む必要があった」と感じることで、心理的な「あせり」が生じるからです。試験日程にあわせて各科目の出題箇所をコツコツと学習するようにしていきましょう。少なくとも試験日の2日前にはある程度の自信を持って臨める状態にしておけば、追加で学習する内容が生じて心にも余裕を持って勉強に取り組めるはずで

2 苦手科目にこそ時間をかけること。

上記の内容と重なりますが、苦手科目にこそ何日か前から時間をかけて取り組むべきです。学習内容が分からない、試験になるとどうしても解けないなど苦手と感じる理由は様々でしょうが、どのように克服していけばよいか考えることも大切です。

なお、不明な点は決して難しく考えず、積極的に教科担任の先生方に質問し、その後繰り返し学習していきましょう。

3 最後まで粘りの気持ちを持って学習に取り組むこと。

学習を行っていく上で、一番大切なのは「気持ち」です。

これについては、みなさんが一番感じていることではないでしょうか。

取り組みの過程で思うように勉強がはかどらず、挫折しそうになることもあるかもしれませんが、そんな時こそ「我慢」が必要です。「我慢」がみなさんを一人の人間として成長させるのです。

あわてず、あせらず、あきらめず を信条にがんばりましょう。

年次主任